

# 中京大学広報 204号

真剣味

2024 May.  
Chukyo University  
Public Relations Magazine



**70<sup>th</sup>**  
**CHUKYO**  
**UNIVERSITY**

**70<sup>th</sup>**  
**CHUKYO**  
**UNIVERSITY**

いつの時代も、  
**未来**を見据えて  
歩み続けてきた。

中京大学は2024年に  
開学70周年を迎えました。

# 2023年度卒業式

## 2,776人が晴れの日を迎える

2023年度卒業式が2024年3月19日、Niterrra 日本特殊陶業市民会館（フォレストホール）で行われ、学部生2,699人、大学院生77人が晴れの日を迎えました。式は二部制で実施し、webでのライブ配信も行われました。

2023年度の学部卒業生たちは、新型コロナウイルスの世界的な流行がピークを迎えた2020年度に入学した学生たちです。梅村清英学長は式辞で当時の苦しい状況にふれ、「多くの先輩たちも経験したことのない逆境にくじけることなく、皆さんがしっかりと中京大生としての本分を貫き通してくれたことを嬉しく思います」と学生たちの努力を称えました。

学長の式辞を受け、第一部、第二部の卒業生代表2名から、大学生活への思いと感謝を込めた謝辞が述べられました。

### media interview

IBTF 世界バトントワーリング  
選手権大会準優勝

北村 涼乃選手（経営学部）



競技と学業の両立ができたのは、ゼミ教員の井関先生の支えがあってこそで、本当に感謝しています。卒業後はバトンの技を磨きつつ、バトントワーリングをもっとたくさんの人に知っていただくために頑張りたいです。

FISU 冬季ワールド  
ユニバーシティゲームズ優勝

山本 草太選手（スポーツ科学部）



2022年のグランプリファイナルで銀メダルを取れたことが、競技人生において、大きな転機になったと思います。前回の五輪は遠い存在でしたが、次の五輪は自分にとって目標と言える距離まで来た手応えを感じています。





## 2024年度入学式

## 3,443人が新生活をスタート

新入生らを祝福するかのようにすがすがしく晴れた4月4日、Niterrra 日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)で2024年度入学式が行われ、学部生3,331人、大学院生112人が喜びの日を迎えました。梅村清英学長は式辞で、「出身地も考え方も趣味嗜好もそれぞれに違った、多種多様な人が集まっているのが大学のキャンパスです。異なった価値観を持つ人とも交遊を深め、積極的に視野を広げていってください」と述べました。

学長の式辞を受け、新入生代表がそれぞれ宣誓。大学生活で成し遂げたい目標や決意を語りました。式典終了後、ステージでは、吹奏楽団とチアリーディング部EAGLESの特別パフォーマンスが披露され、新入生からは惜しみない拍手が送られました。

学校法人 梅村学園  
**中京大学 入学式**



# 「研究は、実は暮らしのすぐそばに。」

子どもの社会性を  
磨くカギは  
運動にあり！

中京大学教員の  
研究レポート

客観的なデータで、  
もっと働きやすい  
社会へ。



スポーツ科学部  
中野 貴博 教授

運動＝競技という思い込みを捨てると  
一気に運動が身近になる。

子どもたちの運動不足は、早急に解決すべき社会課題の一つといえます。これは子ども自身や家庭だけの責任ではなく、安全面を考慮し過ぎて、昔のように、いつでもどこでも、子どもたちだけで自由に遊べる空間が減ってきているのも一つの要因です。

私は子どもの体力向上、活動的な生活習慣の獲得について研究しています。保護者から「しっかり運動をさせなきゃとは思いますが、球技が苦手だから子どもと上手に遊べるか心配」といった声を聞くことがあります。大人はいろいろ考えてしまいがちですが、大切なのは、子どもたちに体を動かす場を与えてあげることです。子どもには「体を動かしたい」という欲求が備わっているので、場を与えるだけで自然と遊びを見つけ、友人たちと楽しく体を動かして過ごすことができます。

皆さんが子どもの時、小学生の中に幼稚園児が混ざって鬼ごっこをするときは「この子だけ、つかまっても鬼にならないようにしてあげない？」といった特別ルールを作った記憶はありませんか。子ども同士で、年齢や得意・不得意などさまざまな事情を考慮し、みんなが楽しく遊ぶための解決策を導き出す。このような経験が、子どもたちの社会性を磨き、健やかな成長のカギになることも明らかになってきています。大人たちは自然と経験してきたけれど、今となっては忘れてしまっている運動の価値。それをあらためて社会に広めることが、子どもたちの運動不足解消につながると確信しています。



経営学部  
濱田 知美 教授

人や社会の動きはデータ化できる。  
分析しないともったいない！

製造業の分野において「日本は技術力が高い」と評されています。ところで、その「技術力」とは何を指すのでしょうか？そして、その評価は事実でしょうか。このことについては、「なんとなくはわかるけど、説明するとなると難しい」と感じる方がほとんどだと思います。

私は人の心や行動など、目に見えず、形のないものを数値化して分析し、その結果をもっと働きやすく、もっと豊かな社会づくりに役立てたいと考えています。先ほどの技術力の定義についても、次のように捉えます。公開されている特許情報のデータから、企業や研究者の技術領域、研究フィールドを抽出し数値化。さらに、研究者それぞれが誰と共同研究しており、グループにはどんなプロファイルの人たちが集まっているのかなど、人と人とのつながりをネットワークの構造として見て、分析するのです。

近年では産業についてだけでなく、テレワークの在り方や上司と部下の関係がモチベーションに与える影響など、皆さんにも身近なテーマの研究を進めています。営業職として優秀な業績を収めた人よりも、業績はほどほどでも、部下たちが意欲的に働く組織運営に優れている人がいる。このようなケースは間々あることです。この差は何なのか、企業利益を考えると、どちらのマネジメント職の在り方が良いのか、その答えを導き出す。これは、感情や価値観に左右されない客観的なデータにしかできないことだと思います。

# Monthly News

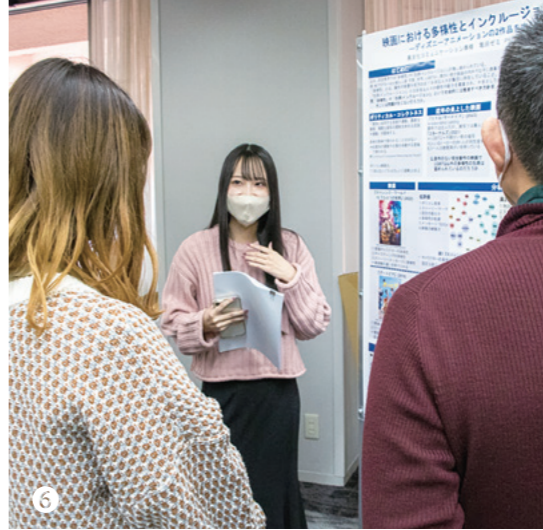


12月 December

1



4



6



7



2 (左) 金田 蒼平さん(国際学部4年)  
(右) 吉野 達也講師(国際学部)



1月 January

5 最前列  
(左) 松本 梨香さん(声優)  
(右) 梶 裕貴さん(声優)



8 (左) 清水 亜紗実さん(総合政策学部3年)  
(中央) 青柳 佳史乃さん(総合政策学部3年)  
(右) 磯谷 陽菜さん(総合政策学部3年)

## 1 イーグルススポーツスクール 「楽しんで体の使い方を覚える教室」を開催

イーグルススポーツスクールは、子どもたちと高齢者にスポーツの楽しさを伝え、体力向上促進を目指す、豊田市と本学の共同事業です。これまで、かけっこ、サッカーなどさまざまな教室を実施。今回は、陸上競技部員とスポーツ科学部の眞鍋芳明教授が講師を務め、小学生を対象に、走・跳・投を含めた運動に取り組みました。

## 3 経営学部齊藤毅ゼミ 「シェア冷蔵庫」活性化で フードロス問題に挑む

日進市に設置された「シェア冷蔵庫」は、規格外の野菜を中心とした食材のシェアができる食品取引サービスです。画期的な取り組みですが、稼働率が課題となっていました。そこでゼミ生たちは「野菜と相性のいい商品を冷蔵庫に陳列することで、販売促進ができるのでは？」と考え、オリジナルドレッシングを企画、販売しました。

## 2 金田蒼平さん(国際学部4年) 全国スペイン語弁論大会で優勝

同大会には天理大学、東海大学、早稲田大学、琉球大学、京都外国語大学、神田外国語大学、中京大学から11人が出場しました。金田さんは「¿Por qué los japoneses somos tan esbeltos?(なぜ日本人はそんなにスリムなのか?)」を発表しました。視線や表情、ジェスチャーに気がついた伝え方を意識しましたと振り返りました。

## 4 交換留学生のフェアウェルパーティーを開催

学生ボランティア団体「VOICE」が企画・運営を担当しました。VOICEが作成した留学生との思い出が詰まった動画の上映や、寄せ書きのサプライズも。交換留学生はもちろん、本学学生にとっても忘れられないひとときとなりました。

## 5 『学生生まれ! 梶裕貴の出前ラジオ劇場』の 公開収録が名古屋キャンパスで行われる

NHKラジオ『学生生まれ! 梶裕貴の出前ラジオ劇場』公開収録in中京大学が1月17日、名古屋キャンパスで行われました。この番組は、人気声優・梶裕貴さんが、ゲストと一緒にラジオドラマに挑戦する内容です。抽選で選ばれた400人を超える観覧者は、梶裕貴さんとゲストの松本梨香さんとの掛け合いを間近で見られる貴重な機会となりました。

## 7 総合政策学部 2023年度プロジェクト研究報告会を開催

プロジェクト研究は、学部の最重要科目に位置づけられています。2年次から履修し、研究手法と学びを深めた3年生が発表しました。「研究報告型」と「政策提案型」に分かれて、1年間の研究成果をプレゼンテーションしました。発表後は活発な質疑応答が行われ、疑問の解決や新たな視点を見出す有意義な時間となりました。

## 6 開設4年目を迎えた国際学部 卒業研究ポスター発表会を初開催

学部初の4年生となった学生が、卒業研究をポスター形式にまとめて発表しました。会場では、学生同士で熱心に意見が交わされており、4年間の学びの充実度の高さがうかがえました。学生による投票も行われ「国際交流賞」「視点部門」「インパクト部門」で合わせて6人が受賞しました。

## 8 総合政策学部今井良幸ゼミ 観光まちづくりアワードでアワード優秀賞を受賞

愛知県主催観光まちづくりアワードは、次代を担う観光人材の育成と観光まちづくりを通じた持続可能な観光の促進を目的としたコンテストです。今井ゼミは「花の王国あいちで花の魅力を知ってもらい、ロスフラワーの削減につなげよう!」を発表。観光課題と社会問題を掛け合わせた「花と触れ合うリフレッシュ旅」を提案しました。



**1** スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・長野(氷上競技)に本学学生がボランティアとして参加

本学は、スペシャルオリンピックス日本と包括連携協定を締結しています。今回はスポーツ科学部、心理学部、現代社会学部の学生8人が参加しました。学生たちはフィギュアスケートの採点補助、表彰式のサポート、DAL\*などさまざまな役割を経験。スペシャルオリンピックスやユニファイドスポーツへの理解をさらに深めた様子でした。

\*ショートトラック選手と大会運営者との懸け橋になる役割

**3** 外務省主催「カケハシ・プロジェクト」のカナダ大学生を受け入れ

外務省主催の対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」でカナダから大学生16人が来学しました。本学学生らが日本の文化を説明し、茶室での茶道の体験や、筆ペンで字を書くなどして交流しました。カナダの大学生にとって、日本の生活や文化に触れる貴重な体験となった様子でした。

**2** 2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会の大会PRアイデアコンテストでスポーツ科学部生が優秀賞を受賞

このコンテストは、大学生たちのアジア大会に対する当事者意識を高める目的で実施されました。3年の結城颯太さんは、廃棄されるプラスチックゴミをボランティアTシャツにアップサイクルするアイデアで、2年の伊藤昂さんと西川智生さんは、パラ競技体験とスタンプラリーを掛け合わせるアイデアで優秀賞を受賞しました。

**4** 経営学部中村雅章ゼミカフェと連携して食品ロス学ぶイベントを開催

名古屋市昭和区の子ども食堂で「廃棄の食材からできるおいしさを学ぼう」をテーマに、カフェから提供されたケーキクラム(スポンジ生地の切れ端などを粉状にしたもの)を活用し、ポム・ド・テールというお菓子を作り試食しました。子どもたちにとっては、食品ロスの問題を自分ごととしてとらえる良いきっかけになったようです。

**5** 2023年度チャレンジ奨励金最終報告会を開催

2023年度中京大学チャレンジ奨励金に採択された7組は、名古屋キャンパスで今年度の活動について最終報告を行いました。報告会後は、チャレンジ奨励金委員会による優秀賞の選考が行われ、「大学と地域の架け橋プロジェクト」「ボードゲームで電気の魅力を広める!」の2プロジェクトが優秀賞に選ばれました。

**7** 豊田キャンパスの食堂がリニューアルオープンアスリート向け食事プランの提供も

1階の食堂「EAGLE TERRACE」では、学生アスリート向けの食事プランの提供がスタートしました。この食事プランは、学生だけでなく教職員や地域住民の方も注文でき、健康維持のサポートも目指します。2階には、焼ききたパンやお弁当などを販売するカフェ併設の新たな学生ラウンジ「CHUGLE CAFE」もオープンしました。

**6** 現代社会学部中田雅美ゼミフィールドワークバスツアーを実施

社会福祉を研究する中田ゼミが、豊田市旭地区を巡るバスツアーを実施しました。人々が気軽に集まれる交流拠点で、相談窓口としての役割も担っている「ししまの家」、カフェやコワーキングスペースなどを併設している「つくラッセル」などを見学。過疎化を含めた地域の課題と住民の皆さんがどう向き合っているのかを学びました。

**8** スポーツ科学部教職課程履修者新入生ガイダンスで模擬授業を実施

スポーツ科学部の新入生ガイダンスで、同学部4年生による模擬授業が行われました。4年生にとっては教育実習に向けた貴重な練習の場となる一方、新入生にとっては数年後の自分たちを想像する刺激的な体験となりました。直接模擬授業を行わなかった4年生たちは、指導教員役として、仲間の授業をサポートしました。

# Go Global!



中京大学国際交流ニュース

今回のテーマは「留学体験記」



## 留学生活は発見の連続。フランスがもっと好きになりました！

case 1

外国語を専門に学ぶ大学ではなく、中京大学の国際学部を選んだのは、言語だけでなく興味があった哲学もしっかり学びたいと考えていたからです。哲学をもっと学びたい、という思いで留学にチャレンジしました。留学前の危機管理研修は、非常に具体的で気が引き締まり、きめ細かなサポートが受けられて、とても心強かったです。留学してみて、良い意味でフランスに対してイメージが変わりました。フランスにはさまざまな人種の人がいるので、日本人である私も、外国人としてではなく市民の一人として接してもらえることが多く、多様性を受け入れる姿勢が備わっていると感じました。またイタリアからの留学生とアパートの部屋でお互いの母国の料理を持ち寄り(ちなみに私が作ったのはお鍋です!)、笑いあった思い出は宝物です。



▲「フランスのベニス」と称される街アヌシー  
木村 真央さん (国際学部 4年)

交換留学 フランス

留学期間:2023年8月~2024年1月



## case 2 世界の広さを実感したディズニー・インターンシップ プログラム



▲ 現地のパーク内でウォルト・ディズニーの銅像と  
エン カギさん (経営学部 4年)

ディズニー・インターンシップ プログラム アメリカ

留学期間:2023年8月~2024年1月

もともと私はディズニーも英語も好きで、さらにビジネスの現場で求められる対応力を伸ばしたいと考えていました。ディズニー・インターンシッププログラムは、新型コロナウイルス流行の影響を受け、私がチャレンジできたのは大学3年の時。念願だったフロリダのウォルト・ディズニー・ワールドでマーチャндаイズ(商品の販売)やフード&ビバレッジ(飲食物の販売)を担当しました。ゲストやキャストから多くのことを学び、語学力だけでなく人間としても成長できたと思います。このプログラムでは中京大学第一期生です。自信と誇りを持って社会人として活躍したいです。先輩の皆さんには学部の枠にとらわれず、やってみたいことにチャレンジしてほしいです。



# 挑戦する大学 THE MOVIE

本学には、それぞれの夢に向かって  
挑戦し続けている学生がいます。  
そして、その挑戦を支える環境と覚悟があります。

同じなのかもしれない。  
戦っている相手は  
どのアスリートも、



## 『CHUKYO 6 SPORTS編』

本学は、これまで多くのトップアスリートを輩出してきました。そんな先輩の輝かしい栄光に憧れて「中京でスポーツを極めたい」と進学してくる学生も少なくありません。10代、20代の若きアスリートたちが、世界で戦える強さはどこからくるのでしょうか。

本編はこちら▶



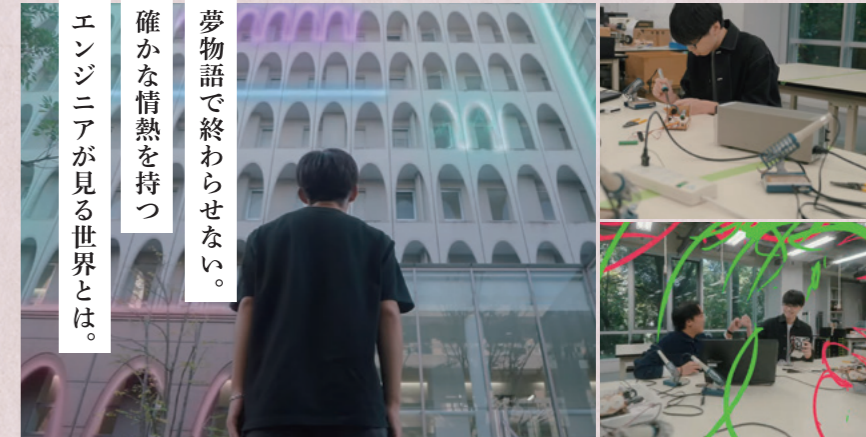
## 『だれも知らない世界編』

現在は想像すらできない驚きの未来が、すぐに当たり前ものになる。私たちは、既に目の当たりにしています。進化し続けるテクノロジーをリードする人材に必要なもの。それは誰でも持てるけれど、持ち続けるのが難しい、とてもシンプルなものでした。

本編はこちら▶



確かな情熱を持つ  
エンジニアが見る世界とは。  
夢物語で終わらせない。



情熱は、自分だけの  
リベラルアーツ。



## 『情熱の軌跡編』

大学では夢中になれるものを見つけたい。そんな人には、この映像がきっかけとなるかもしれません。この動画の主人公は本学の文化会の部活動に所属する学生たち。それぞれのように自分自身を見つけ、磨き、そして周囲と共鳴していくかを映し出します。

本編はこちら▶

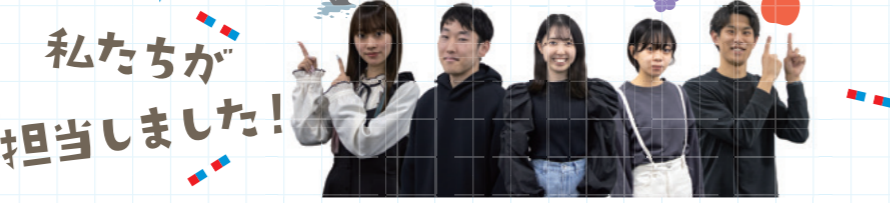


中京大学開学70周年を記念して、挑戦する学生にフォーカスしたプロモーション映像を公開しました。

大学公式Instagramで配信中!



# 探偵 ライトスクープ



私たちが  
担当しました!

青山 未夢 [文学部2年] 出身地:岐阜  
小笠原 優斗 [文学部3年] 出身地:愛知  
久保 美優 [文学部3年] 出身地:富山  
松下 萌 [現代社会学部3年] 出身地:山梨  
樋口 生海 [経営学部3年] 出身地:長野

このページは学生広報スタッフ『ライト』のメンバーが取材・撮影を担当しました。学生ならではの目線を生かした企画・記事をお届けします!

今回のテーマは「挑戦」  
学部の勉強だけではなく、部活動、ボランティア、将来に向かっての学びなど、欲張りに頑張る学生たちを紹介します!

**Case 1**

**準硬式野球部の活動と教員免許取得、2つの夢に全力投球**  
向井 周さん スポーツ科学部3年

向井さんのとある1日をご紹介します

6:00	9:30	11:00	13:00	15:00~16:40	18:00~22:30	24:00
部活	授業	お昼 教職の勉強&授業	授業	図書館で教職の勉強	アルバイト	教職を少しして就寝

**ON!** 私は準硬式野球部で日本一を目指しています。そのために主務としてチームをまとめる仕事をしています。また、愛され、応援される団体を目指し、部活動として子どもの学習支援やスポーツクラブなどのボランティアに参加しています。

**ON!** 子ども一人ひとりを大切にできる教員になるために、教職課程の勉強に励んでいます。そのために朝の部活動の後や授業の空きコマも活用して勉強しています。また、大学の図書館やカフェなど集中できる環境で勉強するようにしています。

**OFF!** 趣味のカラオケでリフレッシュしています。また、教職課程の友達と飲みに行き悩みを打ち明けたり、恋バナをしたりして息抜きをしています。時には目覚ましをかけずにゆっくりと過ごすこともあります。メリハリのバランスは大切だと思います。

**子ども一人ひとりを大切にできる小学校教員になりたい!**  
修学旅行に同行するボランティア中、疲れた様子の友だちに気づいた児童が、その子に付き添う姿を目にしました。自分の楽しさが優先になりがちな修学旅行中でも、困っている友だちを助ける姿に感動。そんな子どもたち一人ひとりを尊重できる教員になれるよう、夢に向かって全力投球します。

**Case 2**

**勉強とサークル活動とアルバイト。大充実の毎日!**  
川口 奏海さん 経営学部2年

川口さんのとある1日をご紹介します

8:00	10:45~16:30	18:00	22:30	24:00
起床	大学(この日は2限~4限)	サークル活動	アルバイト	帰宅 大学の課題に取り組み

**ON!** 地元のコーヒーショップと焼肉屋さんでアルバイトをしています。一年生の時から始めたコーヒーショップのアルバイトでは、新人教育を任されています。人を見極め、その人が成長できるよう教育していくのは、苦勞もしますがやりがいもあります!

**ON!** バンドサークル、バレーボールサークル、大学祭実行委員会に所属しています。バンドではドラムを担当。高校生の時から憧れていたのが、初心者でしたが思い切って入部しました! ライブハウスでの公演に向けて、通学や大学の休憩時間を活用し練習に励んでいます。

**OFF!** 音楽フェスやライブに行くことが一番の楽しみです。勉強やアルバイトを頑張るモチベーションにもなっています。バンドサークルでの活動を始めたことで、「あ、この曲こんなアレンジをしたんだ」など音楽の聴き方が変わってきて、音楽をさらに楽しめるようになりました。

**音楽を支える仕事に就きたい。どう支えるか、どう関わるのかは考え中!**  
将来についてはまだ具体的ではないのですが、経営学部ではマーケティングや経営戦略を学んでいます。その知識を生かして音楽業界を支えていくのが理想です。音楽に関わる仕事はたくさんあると思うので、これからベストな関わり方を見つけようと思っています!

# レッツゴーブンカ 其 式



## 『レッツゴーブンカ』とは?

スポーツのイメージが強い中京大学ですが、実は文化会部活動の活躍もアツい!というわけで、中京大学文化会から、日本や世界の文化を再発信していく連載企画です。



## 茶道部 村瀬 景祐さん(部長・経済学部2年)

お茶に限らず、世の中のすべてのことが、心と形の二つの面があると思われれます。自分の胸の内が相手に通じていなかったり、何を考えているのかわからなかったりということでは困ります。とはいえ形だけが整えばいいのか、ということそういうわけにはいきません。心と形が、相まったときに、初めて素晴らしい一つのものが出来上がるはず。お茶の場合も、茶道は茶の道と書きますから、形(技)と心が一体となったところに、茶における道があると思うのです。

まだ文化とか、文明とかいうものに程遠い頃にあった時代、私たちの祖先は、お腹が空けば、その辺の何かで空腹を満たし、喉の渇きを潤していたでしょう。しかし、それがよりおいしいものを見つけて食べるようになり、作りだすなどして、食の別の価値観軸が生まれてきたのです。

今日、皆さんが喫茶店へ入るとき、喉が渇いたからというよりは、その店のコーヒーがおいしいから、またはその店で聴く音楽が美しいから、あるいは仲の良い友達と談笑したいから、わざわざその店を選ぶことがあるはず。お茶ももちろんです。最初は一人でお茶を飲んだかもしれませんが、よりおいしく飲むために、一家団らんのお茶を飲む。さらに仲の良い友人たちとも一緒に飲もうと考え、客を招いてお茶を飲むようになる。つまり、楽しみというものは自分だけで感じるより、仲間と分かち合い、団らんする方が一層素晴らしいものとなるということです。こうしたことが、現在の茶の湯、いわゆる茶道というものをつくり上げていった元になったと思われれます。

最後に、簡単ではありますが茶道部の活動を紹介します。私たち茶道部は週2回、水曜日と金曜日の13時から17時まで、八事山 興正寺の一室をお借りして練習に励んでいます。普段の稽古では茶道部の大先輩にご指導いただいたり、部員同士で協力し、教え合ったりしています。ほとんどが初心者からのスタートですが、毎回みんなて団らんし、茶の道を学んでいます。



QRコード [< 茶道部Instagram](#)



# 暮らしをちょっと豊かにする ワンポイントアドバイス

## おしゃれ？ 難しそう？

フランスに詳しくない人にこそ見てほしい！

## フランス映画のススメ



今回のコラムニストは…

国際学部  
中島 太郎 准教授  
研究分野 フランス文学



2024年はフランス・パリで五輪、パラ五輪が開催されます。ところでフランスといえば、どんなイメージがありますか？

ファッションや芸術、それとも美食の国でしょうか。実はさまざまな民族的ルーツをもつ市民からなる「共和国」であり、多様性を非常に重んじる国です。それは、フランスの標語でもある「自由・平等・友愛」にも表れています。

今回はその多様性を知るためのフランス映画を5本紹介します。

### 1 異なる文化の遭遇

#### 最強のふたり

車椅子の富豪と、彼を介護する黒人青年とのコミカルな交流を通してフランスの社会を映し出しています。社会が変容する中で「誰がフランス文化を受け継ぐのか」という問いが、二人の関係から見えてきます。フランス本国で大ヒットを記録し、その後多数のリメイク作品を生み出しました。

### 2 家族の絆

#### エール!

主人公の少女以外が全員ろう者という家庭で育った、いわゆるヤングケアラーを描いた作品です。フランスらしいユーモアあふれる会話(手話)のやり取りもあり、重たく描かれがちなテーマを等身大の姿で、心温まる様子で描いています。その後、英語でリメイクされたのが『コーダ あいのうた』です。

### 3 宗教の共生

#### さよなら子供たち

第二次世界大戦中、ナチスの占領下にあったフランスの片田舎で、カトリックの寄宿学校に疎開した少年たちの日常を描いた作品です。ある日、寄宿学校に一人の転入生がやって来て、次第に主人公と打ち解けていきます。しかしその転入生はユダヤ人で……。少年たちの目を通して、当時のフランス人が置かれていた息詰まる状況を見事に描いています。

### 4 パリの移民たち

#### レ・ミゼラブル

『レ・ミゼラブル』といえば、ミュージカルや映画で知られる19世紀のフランスが舞台の作品で、映画の舞台は現代のパリ郊外。さらびやかなパリとは対照的に、郊外の移民の現実には厳しいものです。最後に引用される「悪い草はない。育てる者が悪いだけだ」というユゴーの言葉を、あなたは一体どうとらえますか。

### 5 女性と社会

#### ジャンヌ・デュ・バリ

『ジャンヌ・デュ・バリ』は、ルイ15世の公妾だったデュ・バリ夫人についての作品です。自由奔放な女性の姿や視点を通じて、絶対王政という名の男性中心社会と、歴史を描き出します。主演俳優のフランス語やベルサイユ宮殿での撮影も話題になりました。

2024年はパリで五輪・パラ五輪イヤー!

#### 炎のランナー

ちょうど100年前、パリで五輪が開催されました。この100年前の様子を描いた映画が『炎のランナー』。それぞれ異なる背景を持つ選手たちの友情が描かれています。ユダヤ人に対する偏見を見返すために走る主人公と、神をたたえるために走る牧師。スポーツを通じて偏見と闘い、信念を貫こうとする姿にきっと心を打たれるはずです。

### まとめ

映画はエンターテインメントでありつつ、文化や新たな知識へと扉を開いてくれ、現在の社会が抱える課題や実情に理解を深めてくれるものです。近年の国際的な映画祭では家族やジェンダーやLGBTを扱った作品が数多く出品されていて、それだけ多様性が進んでいることがわかりますね。

一本の映画は、一冊の本と同じく私たちの人生を豊かにしてくれます。今回紹介した作品は、普段あまり映画は見ないという人や、フランスに詳しくない人にとっても面白く見てもらえる作品ばかりです。ぜひこの機会にここで紹介したフランス映画を鑑賞してみてください。

Amusez-vous bien!

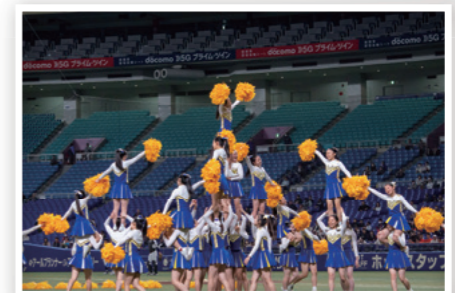


学童キャッチボールも盛り上がりました

## 梅村学園創立100周年記念

### 「オール中京・オール東邦野球大会」に硬式野球部らが参加

2023年に100周年を迎えた両校による記念行事の一環として、野球部現役戦、野球部OB(大学生・社会人)戦が11月23日、バンテリンドーム ナゴヤで開催されました。当日は約1万人がスタンドを埋め、両校の選手たちに温かい声援を送りました。地元の学童チームを招待した学童キャッチボールの開催や、東邦高校のマーチングバンド部、バトントワリング部、中京大学附属中京高等学校のチアリーディング部、ダンス部のパフォーマンス披露などがあり、両校の100周年に花を添えました。運営には、両校の放送部員や生徒会役員、野球部のマネージャーなど、選手以外の生徒も多数携わり、円滑な進行に貢献しました。



笑顔で記念撮影する皆さん



## 高大連携プログラムの成果を発表。7年一貫教育修了セレモニーを開催

中京大学附属中京高等学校から中京大学に進学し、2024年3月に卒業する学生を対象とした「7年一貫教育修了セレモニー」が3月12日、中京大学名古屋キャンパスで開催されました。7年一貫教育は、附属高校との高大連携プログラムとして実施しており、高校在学時から将来の目標をしっかりと持ち、意欲的に学んでもらうことが目的です。卒業生を代表して穴澤芽衣さん、野田凌雅さん、小出航平さん3人が7年間の学びと成長を発表しました。大学での学びにおけるターニングポイントとなった出来事を振り返り、これから進む道への決意を表明しました。

約2時間にわたるイベントは、7年一貫教育修了セレモニー実行委員の学生が運営しました。





中京大学の広報誌やスポーツ誌は、  
卒業後は希望された方のみにお送りしております。  
卒業後の送付についてご希望がありましたら、  
コードを読み取り、登録をお願いいたします。

学園情報・広報誌等お申し込みフォーム

